

助成しています

甲状腺超音波検査

問 放射能対策室
☎内線1569
健康づくり推進課
☎内線1742

牛久市では、福島第一原発事故による初期被ばくを心配する保護者の方々の「子どもの甲状腺の検査をしたい」という声にお応えして、甲状腺超音波検査費用の一部を助成しています。対象者などの詳細については「表1」をご覧ください。

なお、検査結果は、個人情報を除

いて、市ホームページ等で公表します。また、検査結果と事故における放射線の影響との関連は、现阶段においては判定できないことをご了承の上、検査をお受けいただきますようお願いいたします。

これまでの検査結果は「表2」のとおりです。

【表1】甲状腺超音波検査について

対象となる方	助成回数
平成4年4月2日～平成24年4月1日生まれの市民 震災発生時点で18歳以下(胎児含む)	年度内 1回
助成金額	
3,000円※自己負担額は概ね3,000円程度(病院により異なる)。	
申込方法	
市保健センター窓口で助成券の発行を受けてから、協力医療機関にご予約ください。	
協力医療機関	
◆牛久愛和総合病院☎870-5525(予約センター直通)※中学3年生まで ◆セントラル総合クリニック☎875-3511 ◆いずみ内科医院☎830-8655 ◆上柏田クリニック☎878-0210 ◆天満胃腸科クリニック☎830-7770 ◆牛尾病院☎0297-66-6111 ◆龍ヶ崎済生会総合健診センター☎0297-63-7178	

【表2】検査結果(平成25年11月～平成30年3月)
甲状腺がんが見つかった人はいませんでした(受検者総数187人)

判定結果	判定内容	人数
A判定	(A1) 異常なし(所見なし)	90
	(A2) 小さなしこりやのう胞があるが、二次検査の必要なし	86
B判定	5.1mm以上の結節や20.1mm以上ののう胞有り。二次検査勧奨	11
C判定	直ちに二次検査勧奨	0

※甲状腺超音波検査は最新の機器で検査すると、3mm位の非常に小さい微細構造までわかります。そのため、50%程度の方は、二次検査(精密)の必要がない小さなしこりやのう胞がみつき「所見あり」(A2判定)という結果になります。

市内公道上の空間放射線量率測定結果(第9回)

問 放射能対策室
☎内線1569

牛久市では、車両走行による道路上の空間放射線量率測定を平成23年11月から9回にわたって実施してきました。車両走行による測定のため、車道上の測定値になりますが、年間追加被ばく線量1ミリシーベルトの目安となる毎時0.23マイクロシーベルトを超える測定地点はありませんでした。

【測定装置】A2706型：CLER-PULSE 【測定期間】平成29年12月4日～12月22日 【測定高】地上1m

	分布割合(マイクロシーベルト/時)							測定数
	～0.10	0.10-0.15	0.15-0.20	0.20-0.23	0.23-0.25	0.25-0.30	0.30～	
2011年12月(第1回)	1.4%	15.9%	38.3%	21.5%	10.7%	10.2%	2.1%	13,453
2012年6月(第2回)	13.6%	39.2%	36.3%	6.7%	2.0%	1.9%	0.2%	14,177
2013年6月(第3回)	37.8%	50.8%	10.7%	0.5%	0.1%	0.0%	0.0%	15,761
2013年12月(第4回)	58.7%	36.8%	4.4%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	14,982
2014年6月(第5回)	72.1%	26.1%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16,291
2015年1月(第6回)	69.5%	27.0%	2.9%	0.3%	0.2%	0.0%	0.0%	16,291
2015年12月(第7回)	79.2%	19.8%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16,223
2016年12月(第8回)	83.9%	15.6%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17,122
2017年12月(第9回)	74.9%	23.1%	1.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	18,055

上記の表はこれまで行われた測定の測定値ごとの分布割合をまとめたものです。2013年6月の第3回測定まで急速に減少していった放射線が、速度を緩めながらも減少傾向にあるということがわかります。

※詳しい測定結果は右記のURLよりご覧ください➡ <http://www.city.ushiku.lg.jp/page/page007033.html>